

## 久我山だより

平成30年6月 29日

杉並区立久我山小学校  
 電話(3331)3631 FAX(3247)8415  
 URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

## 「特別の教科 道徳」のスタートを受けて

道徳科主任 金城 啓太

**1 新しい道徳が始まりました**

今年度から、「道徳の時間」は「特別の教科 道徳」（以下「道徳科」という。）となりました。大きく変わったことの一つに「評価が加わったこと」が挙げられます。

もうすぐ学期末、通知表の時期です。ここでは新たに加わった「道徳の評価」とは何を評価するのかについてお知らせします。

**2 道徳性の評価ではありません！！**

教科化にあたり、批判の多かったのが評価についてです。「道徳性を評価するのはおかしい」「評価をすると、教師の求める答えを言うだけになる」などの声が聞かれました。

たしかに「道徳性が身に付いたか」は安易に評価できるものではありません。

では何を評価するか？今回の教科化で加わったのは、「学習状況」と「児童の成長」の2つについて評価することです。

**3 学習状況とは？**

学習状況の評価とは、児童一人ひとりの授業時の取組についての評価です。その時間にどんなことを考え、話し合い、発言したかといったことです。道徳科の授業では、どんなことを考えさせたいか、毎回もねらいを明確にして授業を行います。友達の考えを聞いたり交流したりしながら、自分の考えを深

め、広げていきます。その中で、児童一人ひとりがどんなことを考えたのか、ワークシートに書いて考えを深めていく様子や発言の様子とその内容などを記述します。

**4 児童の成長について**

「児童の成長」の評価とは、道徳科の時間にどのような成長が見られたかです。

授業の中では発言や話し合い、ワークシートに書く活動などがあります。それらの取組の様子や内容がどう変わっていったのか、一人ひとりがどのように成長したかを見取ります。

先ほどの「学習状況」については授業1時間内での評価ができるのに対して、こちらは少し長い期間での評価です。学期や年間の成長を通知表に記します。



通知表をご覧になるときに気を付けていただきたいことは、一人ひとりのお子さんが何を頑張ったのかをしっかりと見つめることです。どのような成長が見られたかをお伝えできるようにしていきます。

本校では、2年前から「道徳科」について研究してきました。昨年度は1月に研究発表を行い、「道徳の教科化」について杉並区内でも先進的に取り組んできました。また、本年度も引き続き道徳科についての実践研究を行っています。これからも質の高い道徳科の学習、的確な評価を心掛けてまいります。